

CONTENTS

特集 文化のバトン	2~13
白秋献詩	14~15
事業者の固定資産税を軽減ほか	16~17
ごみ減量大作戦、秋の叙勲ほか	18~19

広報やながわ 令和2年12月1日号 No.376

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp> ●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

幕開け待つ 文化の殿堂
12月20日ついに市民文化会館オープン



【左】10月27日、市役所を訪問し、今冬メジャーデビューすることを報告【上】金子市長に8月に発売したミニアルバム「無垢」をプレゼントし、「大好きな柳川を歌を通して広めていきたい」と意気込みを語った

柳川探求

No.9

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

今冬にメジャーデビュー
市出身のシンガー・ソングライター

Ranさん (西浜武・20歳)

2月から配信の音楽アプリ
総再生回数が13万回を突破

市出身のシンガー・ソングライター Ranさんが、今冬にメジャーデビューします。幼少期から音楽が好きだったRanさんが本格的に歌を始めたのは、中学3年生のとき。ボーカリストに通い始め、ギターと作詞作曲を始めました。また、書道も得意で、昭代中学校1年生の時には太宰府天満宮七夕揮毫大会で最高賞の文部科学大臣賞を受賞

したことも。伝習館高校を卒業後、音楽制作会社と契約し上京。今年2月から音楽配信アプリで楽曲の配信を開始しました。純文学に影響を受けた歌詞や地声と裏声の中間のミックスボイスが特徴の歌は評判となり、総再生回数は13万回にも上っています。

歌作りの原点は
大好きな柳川の景色

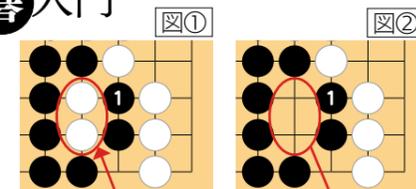
Ranさんが活動の中で大切にしているのは言葉。「言葉は私にとって魔法のようなもの。

作詞するときも歌うときも言葉が死なないように心がけています」と言葉へのこだわりを話します。また、柳川の広い空と海の匂いが好きというRanさん。歌作りのときには、いつも地元柳川の景色が頭に浮かんでくるそうです。

Ranさんにこれからの目標を尋ねると、「うれしさや悲しさなど、うまく言えない気持ちを言葉にしたり、多くの人に共感してもらえたりするような音楽を作っていきたいです」と話してくれました。

柳川観光大使
大淵盛人九段の囲碁入門

今回も囲碁のルール「囲んだ石は取ることができる」です。図①のように黒が打つと、図②矢印のように黒に囲まれた白石2個は黒が取ることができます。



図① 縦と横が全部ふさがった石
図② 黒が取ります

編集後記。

琴奨菊関が引退を発表。歴代6位の幕内通算718勝。相撲を通してたくさんの方々に教えてくれた柳川のヒーローだ。花火が聞けなくなるのは少し寂しいが、これまでのがんばりに心からありがとうを伝えたい。12月15日号では感謝の気持ちを込めて琴奨菊関のこれまでを振り返ります。(美奈)